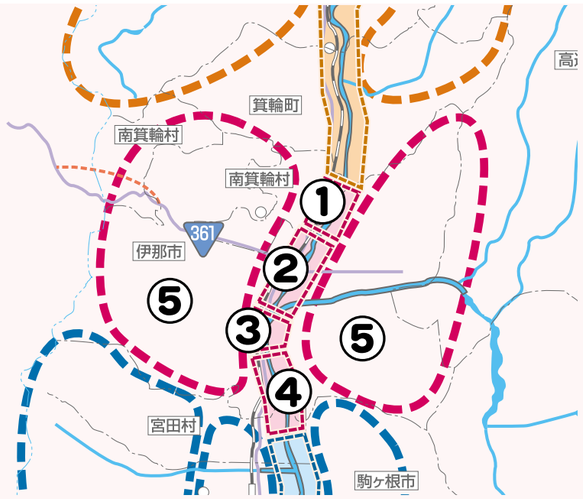

ゾーン名 1.【伊那上流ゾーン】（新箕輪橋付近から明神橋まで）

1−1　ゾーンの特徴
・天竜川沿いは、工業地帯（準工業地域）となっています。
・また、田園地帯でもあります。
・住宅地は少ないです。
・大きな小学校があり、小学生の利用も多い場所です。
・支川の合流点付近では、親水性が高いです。
・川の流れが安全で変化に富んでいるので、カヌーで下るにはいい場所です。
・鮎釣りが出来ます。
・国道153号バイパスが将来横断します。

1−2　整備・保全・利用の方針
1.既存の自然環境を生かした親水利用をします。
2.霞堤などを利用した川遊びが出来る場所にします。
3.釣り、川下りなどの親水利用が出来る場所にします。
4.周囲の景観に調和した新たな橋づくりをします。
5.工場排水への規制強化を促進します。

1−3　具体的な方策として・・・
・近隣の工場に河川と一体となった緑地化をしてもらいます。
・休日に工場の駐車場を開放してもらいます。
・支川合流点で、河川に近づける階段整備をします。
・カヌーの発着場（トイレ・駐車場等）を整備します。
・天竜川全域の他ゾーンと連携してカヌーを楽しむ機会（大会等）を設けます。
・排水規制に関する条例を強化するよう働きかけます。
・地域住民の水質向上への関心を高めます。　　などが考えられます。

ゾーン名 2.【伊那市街地ゾーン】（明神橋から平成大橋まで）

2−1　ゾーンの特徴
・野鳥が多く見られます。
・両岸が道路にはさまれています。
・両岸市街地です。（長野県の大河川で唯一）
・堤防に小段が一部整備されています。
・河川敷に車で降りられる場所があります。
・水辺に近づきにくい状況です。
・橋の数が多いです。
・ゴミが川の中へ捨てられている場所があります。

2−2　整備・保全・利用の方針
1.人が水辺に近づけるようにします。
2.どんど焼き・灯篭流しなどの文化的利用を継承していきます。
3.水鳥が住める環境にします。
4.カヌー・やかた船などが、安全に下れる川にします。
5.「やすらぎ」が得られる公共施設の跡地利用を図ります。
6.橋の架け替え時には、景観にあった橋づくりをし、伊那谷の景観を創出します。
7.食にまつわる河川文化を継承します。

2−3　具体的な方策として
・両岸に連続した小段を整備します。
・ワンドを整備します。
・伊那中央病院跡地を桜堤公園等へ活用します。
・河川敷を駐車場利用します。
・川へ下りる坂路を整備します。
・ヤナ場を維持します。
・積極的に川に降りていける堤防を整備します。
・橋や周辺の街並を一体的に修景します。　　などが考えられます。

ゾーン名 3.【三峰川合流ゾーン】（平成大橋から春近大橋付近まで）

3−1　ゾーンの特徴
・伊那市役所が近くにあります。
・広い河原・中州があります。
・最大の支川・三峰川の合流点です。
・合流点付近に砂利プラントがあります。
・トラック・ミキサー車の出入りが多いです。

3−2　整備・保全・利用の方針
1.スポーツ・イベントなどが出来るゾーンにします。
2.親水的で水辺に近づきやすいゾーンにします。
3.天竜川水系の治水の歴史を学べる場をつくります。